

nouvelle Fontaine

発行日 2017年10月25日

発行 岸和田文化事業協会

〒596-0073 岸和田市岸城町5-10
岸和田市立自泉会館内

TEL/FAX 072-437-3801

Email:fontaine@sensyu.ne.jp

http://www2.sensyu.ne.jp/fontaine/

利休と待庵（国宝）

日本国内には、現在三棟の国宝の茶室があります。犬山の如庵、大徳寺の密庵、そして日本最古であり、唯一、確かに千利休作であると伝えられる「待庵」です。

待庵は京都府乙訓郡大山崎町にある仏教寺院「妙喜庵」の茶室です。天王山がせり出し、桂・宇治・木津の三河川が合流するこの地は天然の要塞ともいえる地形で、古くから交通の要所でありました。本能寺の変を受け、備中高松城の攻城戦から引き返した羽柴秀吉の軍勢と、織田信長を討った明智光秀の軍勢とが激しく戦った場所でもあります。この合戦の折、秀吉は陣中に千利休を招き二畳の茶室を作らせました。利休は妙喜庵の功叔和尚とともに秀吉に茶を点じ、労を慰めたといわれます。その茶室を移築した、あるいは戦の後天王山に城を築き本拠としていた秀吉が利休を呼び寄せ作らせた、利休の屋敷にあったものを移築したなど、いくつかの言い伝えがあります。待庵は、初めてにじり口が設けられた茶室の原型であり、数寄屋建築の原型ともされています。

茶室でいただくお茶、いわゆる茶道には



待庵

様々な作法があり、少し敷居が高く感じられますが、お茶は私たちの暮らしの中の身近な飲み物です。茶番、お茶を濁す、茶化す、無茶、お茶の子さいさいなど、「茶」のつくたくさんの言葉があり、茶道の考え方である他者をもてなす心や一期一会という思いは、日常生活に息づき浸透しています。

中国からもたらされたお茶は長い時間をかけ、葉として、身分ある者の嗜みとして、仕事の合間の癒しとして、日本人に広く愛されてきました。

私たちの心の奥深くにあり、連綿と受け継がれてきたもの。それを文化と呼ぶのならば「茶」はまさしく守り継いでいくべき大切な文化です。この秋、文化事業協会では、わが国が誇る「茶」に目を向けました。日本の心を見つめる時間。ルーツからその世界を学ぶ講習会と、国宝「待庵」の見学です。

(文:小末元恵)

講習会

「日本が誇るお茶の文化ルーツから 利休の俺の世界までを学んでみませんか」

講師：西念 秋夫（西念陶器研究所）

内容：利休とお茶について

日程：11月1日（水） 10:00～11:30 または 18:30～20:00

場所：岸和田市立自泉会館展示室

費用：無料（当日、資料コピー代は実費をいただきます）

申込・問合せ：岸和田文化事業協会 TEL/FAX 072-437-3801

※国宝「待庵」への日帰り旅行(有料)は定員となりました。ご了承ください。

泉州、岸和田の地に音楽文化の花が咲く

元音楽教師・音楽教育者 福田 正一



随分昔の事になりますが、泉州は玉葱は育っても文化は育たないとか、文化果つるところまで言われたものです。それに刺激されてか、意欲に燃える若き教員が音楽教育に情熱を注ぎ、やがて岸和田の地が吹奏楽や合唱の分野で全国的な評価を受けるようになったのです。

私が音楽専科の教員として城内小学校に着任したのは昭和32年のことです。当時既に合唱団があったことに驚き、その関心度の高さからこの地での音楽指導の決意を新たにしました。

はじめは合唱を主にした音楽教育も、指導要綱の改定に伴い、より幅広い教育が求められるようになりました。小学校ではハーモニカ、更には伝統的な楽器であるリコーダーが個人持ちの楽器として採用され、それが愛好者を生み、器楽教育を発展させることになったと思われまます。当初はピアノと机だけの音楽室が高度経済成長期とも相まって徐々に備品も揃いだし、市内の各校に配属された音楽専科の教員が、それぞれの得意なジャンルで競い合いました。

1964年の東京五輪では聖火ランナーの中継点のひとつに岸和田市役所前が選ばれ、その歓迎演奏に城内小学校の鼓笛隊が参加しました。

昭和40年(1965年)代に入り中央小学校に転勤した私は、重奏方式による小編成の合奏を主とした授業を行い、子供達が自分の責任のもとにパートを演奏し、且つ他のパートに関心を示し、グループでよりよい演奏を目指して意見を述べ合うことができるような環境を整備しまし

た。そして最初は金管バンド的な編成でスタートした活動が、やがてブラスバンド部として誕生したのです。メンバーは小4～6年生で構成され、楽器は市のを借用しましたが、足りない楽器の殆どは保護者の惜しみない支援を賜りました。子供達もよく頑張りました。授業が始まる前のロングトーンやパート練習、下級生の指導に至るまでの自主的な活動には驚きました。同時に、近隣の方には随分迷惑をかけたましたが、物心両面における温かい支援があって活動が活発化してきました。

中央小のブラスバンド、東光小のコーラス、城内小の弦楽合奏がジャンルを超えて互いに競い合い、大会ではそれぞれが立派な成績を残していきました。ブラスバンド部は、大阪大会で優勝し全国大会に進むなどの実績を重ねました。

1970年の大阪万博では、開会式のパレードと記念演奏会に出演し、1983年の大阪築城400年まつり、そして御堂筋パレードにも出演しました。パレードでは子供達の頑張りりと保護者、校区の方々の絶大なる支援のもとに、大阪市役所から高島屋までの3.3kmを本物の管楽器を演奏し行進しました。バトンやフラッグ隊まで参加した素晴らしいパフォーマンスでした。それは私が地域コミュニティーの計り知れないパワーを感じた瞬間でした。

やがて、私の転勤等の諸事情により、ブラスバンド部は20年足らずの活動期間に幕を下ろしましたが、それに関わった人達の念いは間違いなく音楽文化向上の一助となっているでしょう。岸和田市は今でも、老若男女問わず音楽活動が活発な地域です。しっかりと文化が育ったわけです。発足後30～50年を超えて、今でも音楽を楽しみ、着実に年輪を刻んでいる合唱団もあります。私は、今でも混声合唱団コール・ルヴォワールを指揮するなど音楽に携わっています。マドカ合唱祭も今年で30回を数えます。発表会等で昔の教え子に出会うと大変嬉しく、そして懐かしく当時が思い出されます。



めざせ！ 岸和田マイスター

【岸和田城編】

豊かな自然につつまれ、古くからの歴史、文化が継承されている岸和田市。その奥深さを再発見して、それらを多くの人に伝えましょう。岸和田市の魅力あふれる不思議の扉を、問題形式で出題する「めざせ！岸和田マイスター」。初回の扉は「岸和田城」です。

★は難易度を表す

1 岸和田城はどれでしょうか？ ★☆☆



2 岸和田城に存在しない石積みはどれでしょうか？ ★★★



3 現在の城は3重3階ですが、江戸時代の創建当初は何重でしたか？ ★★★

- ① 3重
- ② 4重
- ③ 5重

6 岸和田城が落雷によって焼失したのはいつですか？ ★★★

- ①文政10年（1827年）
- ②文化10年（1813年）
- ③寛政10年（1798年）

7 岸和田城は昭和29年に再建されましたが、当初どのような目的で造られましたか？ ★★★

- ①市役所
- ②美術館・博物館
- ③図書館

8 天守前にある八陣の庭（はちじんのにわ）は誰の作庭ですか？ ★☆☆

- ①重森 三玲
しげもり みれい
- ②小川治兵衛
おがわじ へえ
- ③小堀 遠州
こぼり えんしゅう



4 石垣の刻印石（工事した大名が目印を付けた石）を集めて、わかりやすいように積み直している場所があります。それはどこですか？ ★★★

- ①心技館前
- ②岸和田城の2階に実物展示
- ③岸和田高校の前



9 岸和田藩岡部家代々の藩主が眠る墓はどこのお寺ですか？ ★★★

- ①本徳寺
（五軒屋町）
- ②天性寺
（南町）
- ③泉光寺
（門前町）



5 岸和田城にある岡部氏記念碑はどれでしょうか？ ★★★



10 城の○印の部分に、岡部家の紋（左三つ巴紋）と、もう一つの印が並んで配置されています。それはどの印（紋又は市章）でしょうか？ ★★★

- ①岸和田市章
- ②徳川家（丸に三つ葉葵）
- ③豊臣家（桐紋）



※解答は、7面に掲載しています。

継承 現在だから伝え残していきたい 「葛城踊り」



葛城踊りは山あいの小さな町、塔原町では享保の時代から受け継がれてきた雨請い踊りとして、毎年8月14日町の弥勒寺境内で行われています。

かつては和泉葛城山頂に鎮座する八大竜王社の氏子である山麓の南部五ヶ庄（塔原・相川・河合・蕎原・木積）が降雨を神に祈願して行われていましたが、明治時代以降すっかり途絶えてしまいました。しかし昭和30年和泉葛城山の自然に育まれる思いを胸に、塔原町の方々によって奇跡的にも復興され、今は塔原町の男子だけに受け継がれています。

平成5年には、大阪府無形民俗文化財に指定されました。

葛城踊りは、太鼓おどりのひとつとされ「風流（踊り）」の一種です。踊りには「いりは」「大山」「おやかた」「車」「とのご」など計12曲ありましたが、現在は「大山」と「車」の2曲のみが塔原だけに継承されています。

「東西、東西。まかり出で候ものは」で始まる新発意の口上のあと大山踊りが始まります。また「さあ、さあ、若衆たち、支度はようござるかや」の新発意の口上のあとは車踊りが行われます。今年は大山踊りを青年団が、車踊りを小学生

の男子が踊りました。

年々少子高齢化社会になり、祭りの継承も難しくなってきたといえます。でも毎年塔原町が一体になるような笛の音そして男衆の「さあ〜」の声に合わせた太鼓踊り。勇壮でもあり可愛らしくもあるこの祭りを、八大竜王の神様もきっと毎年楽しみにされていることでしょう。

祭りの前には塔原町から大沢町堂脇までの見どころを回る町歩きツアーにも参加しました。

町の子どもたちの遊び場だという山道を登れば、岡堂おかんどうがあり阿弥陀如来や観音様などに手を合わせることができます。また元火葬場跡の六地藏や湧き水のある一ツ藪神社など珍しい場所もたくさんあり、栗や柿も見かけ一足早い秋を感じながら2時間ほど歩きました。

祭りは夕方5時からです。祭りの前に町の歴史を見て回るのも一興かと思いました。



岡堂内

(取材:黒木 幸子・小島 栄子・西出 安廣)

みんなで音を重ねていく ～アンサンブルが楽しくて～ 「リコーダーアンサンブル パレット」



3年間の公民館講座。それが「リコーダーアンサンブルパレット」の始まりです。平成11年のことでした。音楽をしたいけれど大きな楽器はハードルが高い。でもリコーダーならできるかも…。そんな思いから、子どもが使わなくなった楽器を持ち寄ってのスタートだったそうです。講座が終了した後、もっと続けたくなった方々が公民館クラブとして活動。その後新しいメンバーが加わり、大工聖子先生の指導の下、練習に励んでおられます。現在15名。男性も数名参加しています。

練習の最中にお邪魔しました。優しく愛らしい音色が部屋いっぱいに響き、心がはずんできます。小学校で吹いたリコーダーはこんな音だったっけ？そう思いながら拝見すると、何種類ものリコーダーが目にとまりました。音も様々。よく知っている③ソプラノリコーダー、④アルトリコーダーの他に低い音の⑤テナーリコーダー、⑥バスリコーダー、⑦コントラバスリコーダー、そして小さな①クライネソプラニーノと②ソプラニーノ。それぞれの楽器の特徴を説明していただきましたが、初めて見るコントラバスリコーダーは、そうと言われないと全く別の楽器かと思うようなものでした。

始めたきっかけは、広報きしわだで見えて興味を持った。ひとりの演奏よりアンサンブルが楽しそう。合唱では高音パートのため楽器で低い音を出したかった。コンサートを見て入りたくなったなど、皆さんそれぞれですが、共通するのは学校で習って以降リコーダーの演奏はここが初めてということ

です。引っ越しなどよんどころない事情以外で辞めた人がいないそうで、その音色同様、とても心地よい場所にお見受けしました。

「活動は市立中央地区公民館で毎週土曜日14時～16時。アニメソングからクラシックまでいろいろなジャンルの曲を練習しています。また出前公演として、病院や施設で演奏する他に、節目の年にはコンサートも開いています。今年は15周年記念として杉江能楽堂で演奏しました。たくさんのお客様に来ていただき、気持ちよく演奏することができました。リコーダーを聴いてもらう良い機会になりました。」とのこと。

15年も続けているとご苦労もあるのでは？と伺うと部屋がシーンとなりました。今がとても楽しいのだそうです。ただ仲間は増やしたい。メンバーはいづつも募集中とおっしゃっていました。

新しい曲でもまとまるのが早くなってきた。みんな文句も言わず過ごしてくれますという大工先生に、先生がお休みだとまとまりがない。先生がいると音楽が楽しくなるとメンバーの皆さん。しっかりした信頼関係が演奏に現れてくるのでしょうか。何人の方が、息のあった時の楽しさ、周りの音を聴いて合わせる心地よさを語ってくださいました。

現在、11月の公民館まつりにむけて6つの曲に取り組んでいて、家でも練習していらっしゃるのだとか。大工先生は、「トッカータとフーガ」を演奏するのが夢と微笑んでおられました。私たちも聞いてみたい。いつかその夢が叶いますように。

(取材:黒木 幸子・小末 元恵)



Ichigo-Ichien

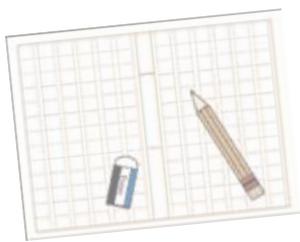
【えんぴつもいいです】

田中 ^{ゆきこ} 幸子

私が小学校に入学したのは終戦直後ですが、鉛筆もノートも不良品で書きづらく、さらに寒くなると、しもやけに悩まされて手や指に包帯を巻いていましたから、子どもの頃鉛筆を持つのが苦痛でした。

文字を書く用具に筆と墨があったのは私には幸いでした。筆と鉛筆とは全く別物だったからです。そのうちに、文字を書く手前、いつまでもペンや鉛筆をさけているわけにはいなくなりました。

後年、筆で得たリズムをペンや鉛筆に適用すると文字のスケールが変わることがわかりました。毛筆は動物の毛を束ねて作られていますので、この束ねた毛のねじれにより複雑な線が出ます。ペンや鉛筆ではそれはかないませんが、リズムや動きは多少文字に乗せる



ことができるようになってペンの字も楽しむようになりました。

又、鉛筆は適度に芯が減って、強弱や太さがペンよりもうまく出てくれますので、時により使い分けています。鉛筆の芯はBぐらいの柔らかいのが書き味として好きです。芯の先はあまりシャープにしないで、少々丸みのあるのが楽に書けますよね。

原稿用紙に書くときは大抵鉛筆を使います。消せるからです。手紙はインクの出る用具で書きますね。これは“消せる”はまずいですから。書のジャンルに入るペン習字という時も、鉛筆は消せるからだめですね。

最近のコピー機は鉛筆の柔らかさを上手に拾ってくれるので、パソコンと手書きの両方を同居させています。例えば案内ちらしを作ったり。

スマホもいいけど、私のところではまだまだ鉛筆も健在です。

【音楽を身近に。】

仲尾 佳子

最近スマホで検索すると聴きたい曲がyoutubeや音楽配信アプリですぐ聴ける。

パソコンにスピーカーを繋いで、仕事のお供に朝から音楽三昧できる。いい時代になったなあと痛感する。

中学生の頃、お気に入りの曲をラジオからカセットに録音してテープが擦り切れるまで聴いた。お小遣いを貯めて買ったLPレコードのジャケットを部屋の壁に飾って崇拜していた「Simon & Garfunkel」は、思春期の頃のバイブルだ。拙いギターで友達とハモった。

短大のある日、ジャズ喫茶で出会ったキース・ジャレットの「ケルン・コンサート」で一遍にジャズのとりこに。即興で奏でるピアノ曲がめっちゃめっちゃっこ良かった。

ジョン・コルトレーンのテナーサックスは、今まで歌謡曲等で聴いていたサックスの音色と全く違った。激しい演奏で知られるコルトレーンの中でしっとり調べる「バラード」は今でも大好きな名盤。

中央公民館クラブのビッグバンド「スウィングアイ

ドル」でアルトサックスに悪戦苦闘する日々。下手なものも忘れてスウィングジャズを奏でているとなんだか楽しくて仕方ない。

恒例の「サマーコンサート」も無事終わり、今度は秋の文化祭に向けて練習だ。

人生半ば過ぎててもやっぱり音楽は身近にある。

今日の音楽は秋の夜に似合う、ボサノバの名曲「Corcovado _ Quiet nights of quiet star」(コルコバード)をスタン・ゲッツで。



Event Report

アンケートからの技料

協会主催の事業にご来場いただき、有難うございました。
アンケートにご協力いただいた方の感想を紹介させていただきます。

第4回 自泉Re.フレッシュコンサート ～羽ばたこう ふたたび～

平成29年8月19日(土) 午後6時30分開演

入場者数 78名

〈皆さんの声〉

- ◆今後もこの催しは続けていただきたいです。音楽を勉強している人達の目標にもなると思います。次回も楽しみにしています。
- ◆初めて見させていただきました。とても楽しかったです。
- ◆とてもステキなホールでのコンサートで雰囲気がとても良かったです。
- ◆プログラムの内容が幅広く良かったです。



晴ちゃんのおしゃべりコンサート Vol.2

平成29年9月22日(金) 午後6時30分開演

入場者数 70名



〈皆さんの声〉

- ◆歌はもちろんお話も楽しくとても良かったです。
- ◆とても勉強になりました。他の楽器にも生かせると思いました。
- ◆秋の夜に素敵なサロンでとても素敵な音楽、楽しかったです。発声練習やら楽しく引き込まれていきました。
- ◆初めて発声訓練を受けることが出来て楽しかったです。ステキな歌と楽しいお話を聞かせて頂きありがとうございました。
- ◆表情豊かに素晴らしい声で聴かせていただき、心洗われる時間を過ごせました。どの曲も情景が浮かんできました。

文化情報

文化の日祝典記念事業「みんなで楽しく! クラシックコンサート」

日時:平成29年11月3日(金・祝) 午前11時45分開演

会場:マドカホール

出演者:西村 文花(ソプラノ)/早田 有里(ピアノ)/山川 大樹(バスバリトン)/若杉 亮(ピアノ伴奏)

入場料:無料(往復はがきで申し込み、または整理券をお求めください。)

定員:300人(申し込み先着順)

申込方法:①往復はがきでお申込ください。はがきに住所、氏名(返信はがきには宛名)、電話番号、人数(2人まで)を記入し、マドカホール「文化の日祝典」係まで

②整理券をお求めください。マドカホール・自泉会館で整理券を配付します。※1人2枚まで

申し込み・問い合わせ:マドカホール「文化の日祝典」係まで

〒596-0004 岸和田市荒木町1-17-1 TEL 443-3800 月曜日休館

今後の事業予定

2017年	11月1日	講習会「利休と待庵」
	11月3日	文化の日祝典記念事業「みんなで楽しく!クラシックコンサート」(マドカホール)
	11月23日	日帰り研修旅行「利休と待庵」
	12月1日	第52回自泉フレッシュコンサート
	12月9日	岸和田文化事業協会 presents『Xmasライブ』
2018年	1月21日	新春邦楽コンサート“箏・尺八の響き”和洋融合パートII
	2月3日	第7回自泉ジュニアコンサートオーディション
	2月25日	第7回自泉ジュニアコンサート
	3月17日	第11回フレッシュプレミアムコンサート(マドカホール)

お知らせ

会員の方は文化情報を掲載することができます。掲載希望の方は事務所までお越しいただき用紙にご記入ください。多数希望の方がいらっしゃる場合や当協会主催の事業がたくさんある場合はご希望に添えないこともあります。ご了承ください。

お願い

岸和田文化事業協会主催で、こんなコンサートや展示をしてみたいと思われる方は、どんどん事務所まで案をお聞かせください。

【3面、「めざせ!岸和田マイスター」の解答】

- ③ ①彦根城 ②犬山城
- ①
- ③ 5重(現在の天守より10m程高かったとされる)
他にも数カ所ある
- ①
- ② ①岸和田城址碑 ③玉葱の碑
- ①
- ③
- ①
- ③
- ① 城跡を岡部氏から市に寄贈されたため

第52回自泉フレッシュコンサート ～名曲をたずねて～

音楽を学び、プロフェッショナルとして
歩み始めた新人演奏家によるコンサート

日時:平成29年12月1日(金)午後6時半開演

会場:岸和田市立自泉会館ホール

出演者:木村 結(ピアノ)
澤山 知里(ピアノ)
安田 保奈美(ピアノ)

入場料:一般前売1,200円(当日200円増)
会員前売1,000円(当日200円増)

岸和田文化事業協会 presents 『Xmasライブ』

日時:平成29年12月9日(土)午後1時開演

- 〈1部〉(午後1時～)
公募参加による聖歌隊コンサート
朗読と音楽による「動物の謝肉祭」
- 〈2部〉(午後2時30分～)
自泉会館を利用している
市民・団体による発表

会場:岸和田市立自泉会館ホール
入場料:1,000円

新春邦楽コンサート “箏・尺八の響き”和洋融合 パートII

尺八と箏にピアノと声楽を加え、様々な角度から
邦楽の魅力を感じていただけるコンサート

日時:平成30年1月21日(日)午後2時開演

会場:岸和田市立自泉会館ホール

出演者:谷 保範・小林 鈴純(尺八)
折本 大人樹・村上 洋子・糀谷 有桜(箏)

賛助出演:宮前 勝代(ピアノ) 角野 芳子(ソプラノ)

入場料:前売2,000円(当日500円増)

チケット発売日:会員11月28日(火)・一般12月5日(火)

■お問い合わせ 岸和田文化事業協会事務局まで TEL/FAX 072-437-3801 Email fontaine@sensyu.ne.jp

第7回

自泉ジュニアコンサート JISEN JUNIOR CONCERT

日時 平成30年2月25日(日)

午後2時開演(開場30分前)

会場 岸和田市立自泉会館ホール

出演者 2月3日(土)のオーディションで選ばれた方

入場料 無料(当日先着100名まで)

出演者を募集します

募集要項

ピアノ・声楽・弦楽器・木管楽器演奏に限る。
(複数名での演奏も可、ただしコーラス等は不可)

対象年齢 小学生～高校生

参加費 2,000円

出演の為にオーディションがあります。

コンサートで演奏する1曲(8分まで)をご用意ください。
オーディションでは、3分程度で演奏を中断していただくことになります。
また、伴奏者が必要な方は各自ご用意ください。

【オーディションの日程】

平成30年2月3日(土)午後2時から 学年順により演奏。

(演奏順は変更できません)

【申込方法】

氏名・学年・住所・電話・FAX番号・演奏曲目(作曲者名)・演奏時間・演奏
楽器名をお書きの上、11月25日(土)までに参加費を添えて自泉会館
へお持ち頂くか、郵送でお申し込みください。郵送でお申し込みの方は、参
加費を下記までお振り込み下さい。
お申込みいただいた方には、12月23日(土)までにオーディションの案内を
郵送いたします。

郵便振込 口座番号 00970-9-28145
加入者名 岸和田文化事業協会
(振込料は各自ご負担ください。)

【申込み・問合わせ】

岸和田文化事業協会

〒596-0073 岸和田市岸城町5-10 岸和田市立自泉会館内
TEL/FAX 072-437-3801 Eメール fontaine@sensyu.ne.jp

平成29年度(平成29年4月～平成30年3月)

会員募集

詳しくは、岸和田文化事業協会事務局まで TEL/FAX 072-437-3801 Eメール fontaine@sensyu.ne.jp

年会費 個人会員(1口) 2,000円 団体会員(1口) 5,000円
(入会費不要) 家族会員(1口) 1,000円 法人会員(1口) 10,000円
(個人会員の同居家族) 特別会員(1口) 50,000円

入会方法 協会事務局(自泉会館)で直接受付致します。
郵便振込の場合は
口座番号 00970-9-28145
加入者名 岸和田文化事業協会

nouvelle
Fontaine

vol.57

発行:岸和田文化事業協会
発行日:2017年10月25日

◆事務局
〒596-0073
岸和田市岸城町5-10 岸和田市立自泉会館内
TEL/FAX 072-437-3801
Eメール fontaine@sensyu.ne.jp

◆編集委員 小島栄子・黒木幸子・小末元恵
西出安廣・堀野和人

編集後記...

絵や書の展示、クラシックにジャズコンサート・・・
などなどたくさんの催しをこの時期は目にします。
ただだけではなくチャレンジしてみたくありませんか。
さて、何を始めましょうか。ワクワク! (黒木)

<http://www2.sensyu.ne.jp/fontaine/>

岸和田文化事業協会

検索

